

白百合園芸考

フランス人口・人口政策の
歴史的展開と日本の現状との比較

松野佑真

「フランスはバチカンの長女」

❖ フランスはキリスト教カトリックの牙城

- cf)ローマの牝牛(ドイツ)

フランスは、三十年戦争においては
プロテスタント側で参戦する！

❖ 宗教による避妊抑制(受胎につながらない「性」は禁忌)

- 自慰 → オナンの罪(旧約)
- 同性愛 → ソドムとゴモラ(旧約)
- 避妊も！



「識字化＋脱キリスト教化＝避妊」

❖ エマニュエル・トッド(1951-)

❖ 主に北フランスにおいて、大革命以前に

1. 識字率の上昇
2. 脱キリスト教化(平等主義核家族)

❖ 他国に先駆けての避妊の普及

→ 出生率の低下・人口減少

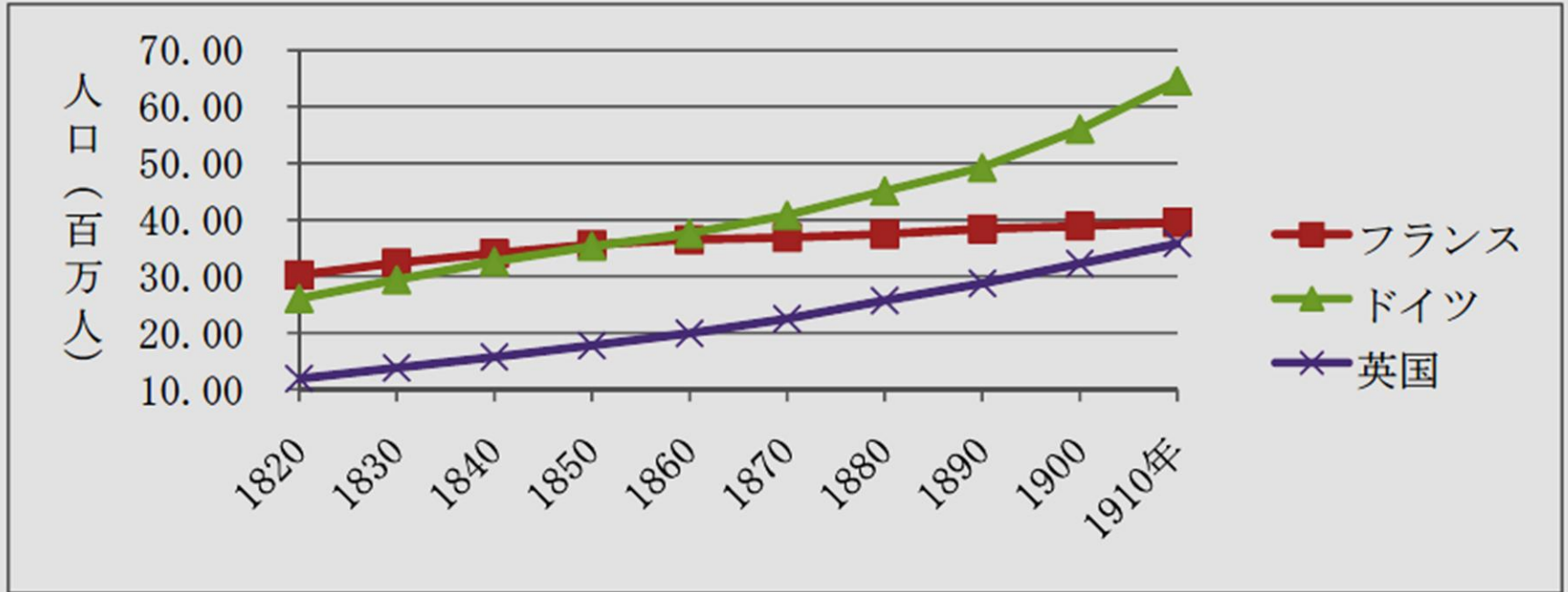




大英の人口の推移の推移



図表3 英仏独の人口の推移



(資料) 『マクミラン新編世界歴史統計 (1) ヨーロッパ歴史統計:1750 - 1993』 79~85 頁表より作成

- (注) 1. フランスの領域は 1860 年以降はサヴォア・ニースを含み 1870 年以降はアルザス＝ロレーヌを除く。
 2. ドイツの領域は、1914 年当時の国境内の領域である。
 3. 英国はイングランド、ウェールズの合計である。

フランス人口(家族)政策の特色

❖ 人口を増やすことは国是！

❖ 様々な主体からの手厚い保護による多様な家族形態の需要

法律婚 — PACS — 同棲

家族会議/全国家族協会連合/連帯・保健・家族省/人口及び家族に関する高等諮問会議/国立人口問題研究所/全国家族手当金庫

❖ 特に、女性が育児を理由に仕事を辞めなくてよい社会づくり

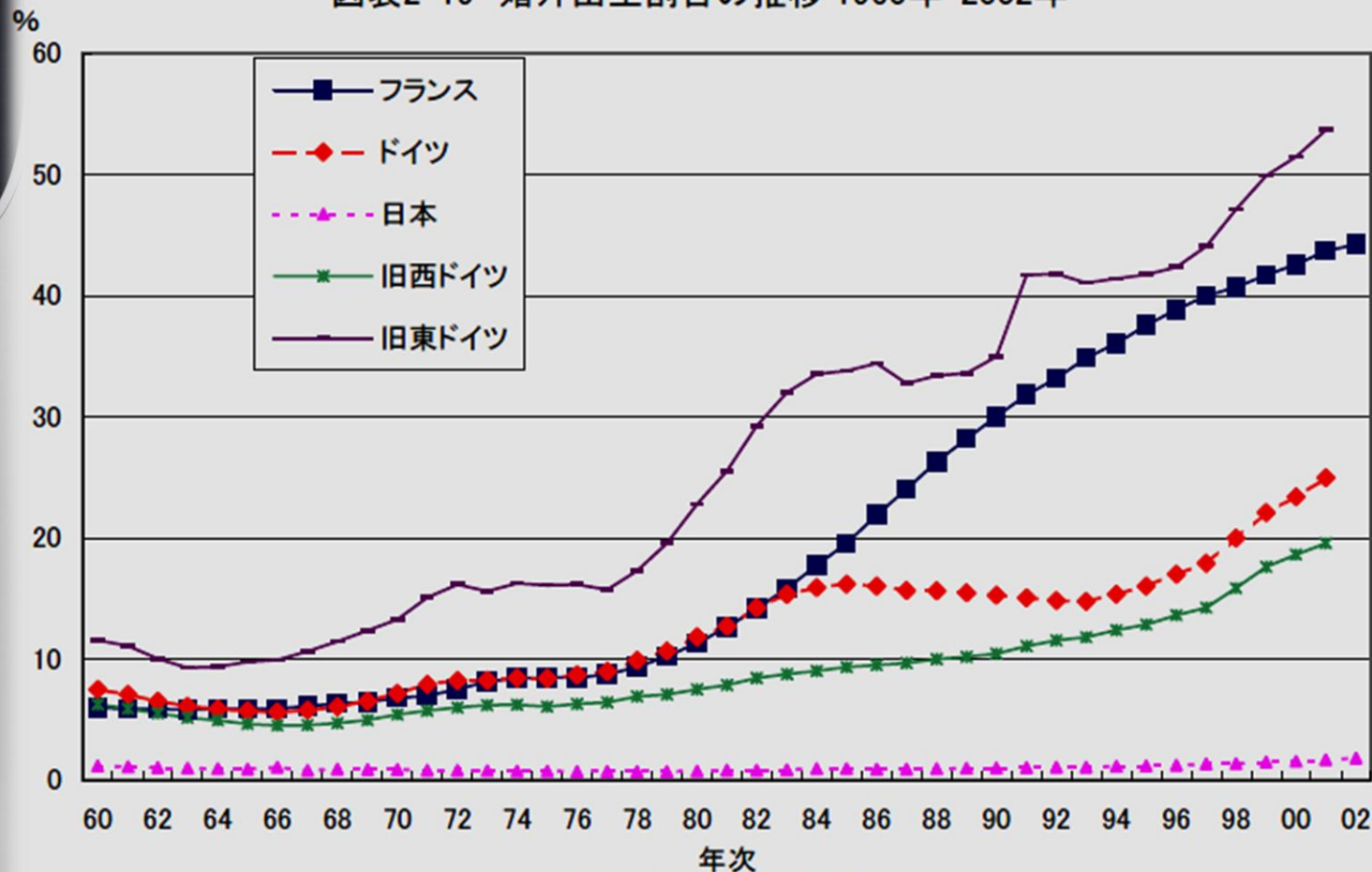
日本・ドイツ → パート中心 フランス → 正規雇用中心

LA MÉDAILLE DE LA FAMILLE FRANÇAISE

- ❖ 4－5人 → Médaille de bronze (銅)
- ❖ 6－7人 → Médaille d'argent (銀)
- ❖ 8人以上 → Médaille d'or (金)
- ❖ 1920～

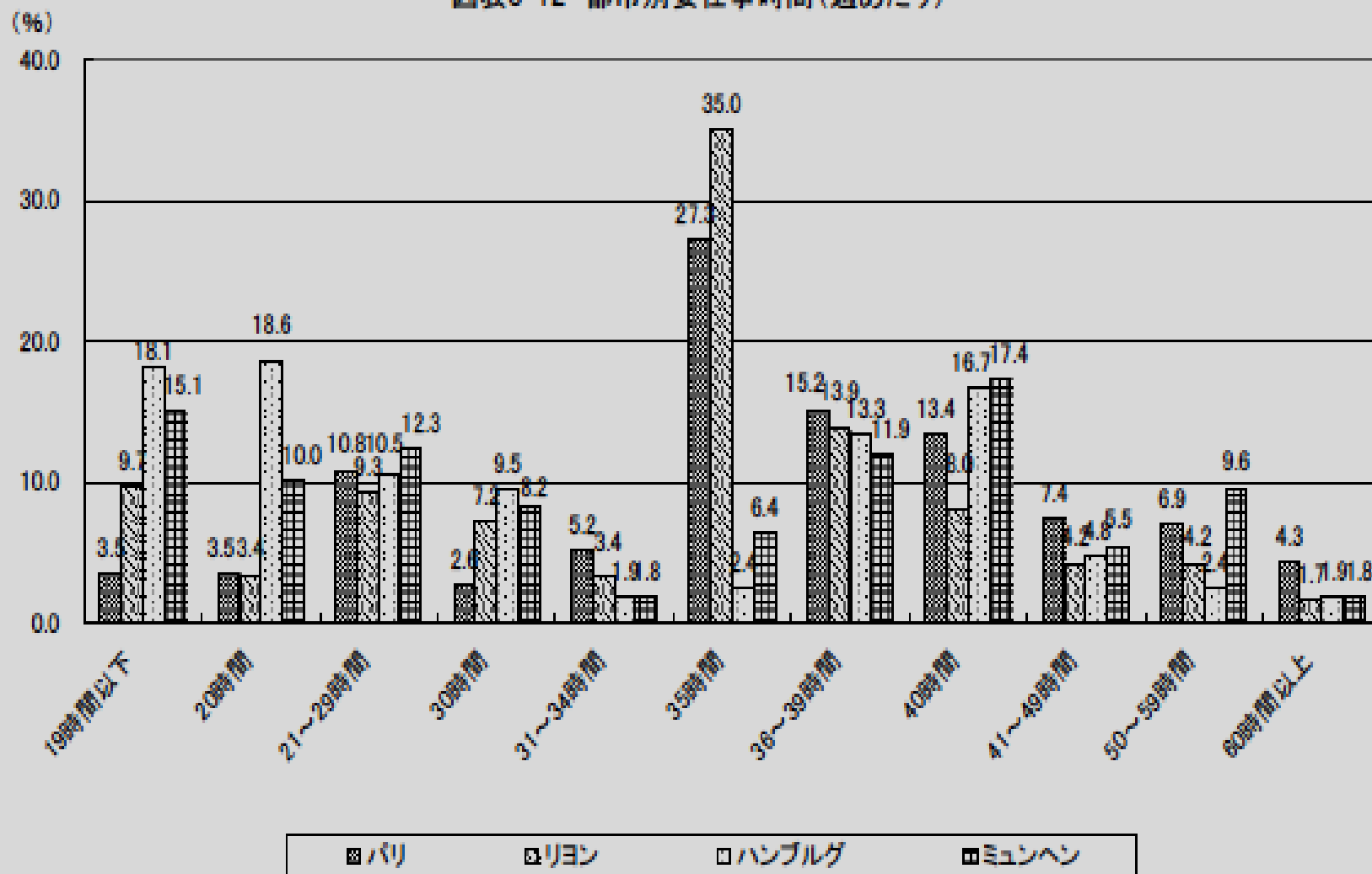


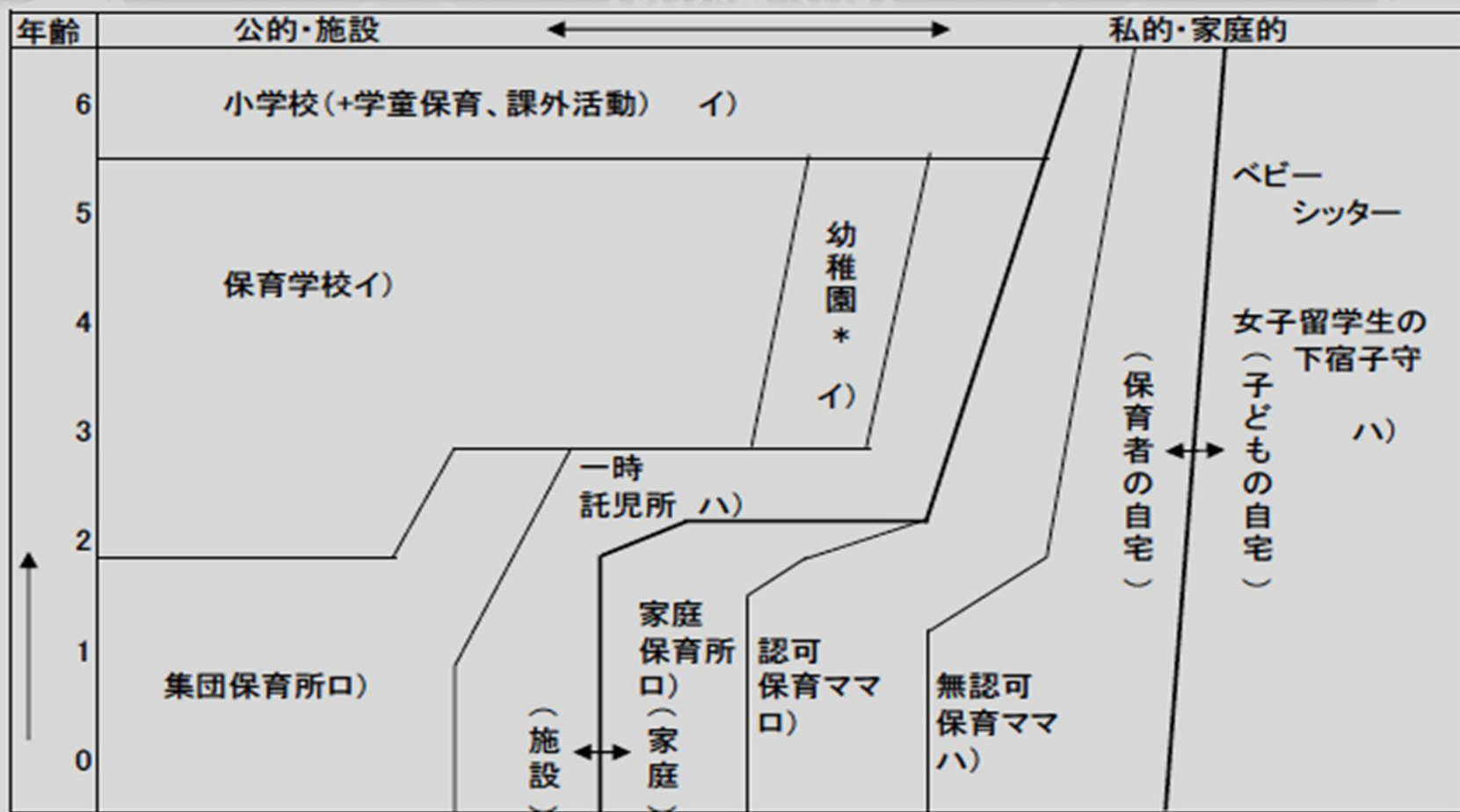
図表2-19 婚外出生割合の推移 1960年-2002年



出典： Council of Europe,2003、日本のみ「人口統計資料集2003」

図表8-12 都市別妻仕事時間(週あたり)





イ) = 教育分野

口) = 公的保育

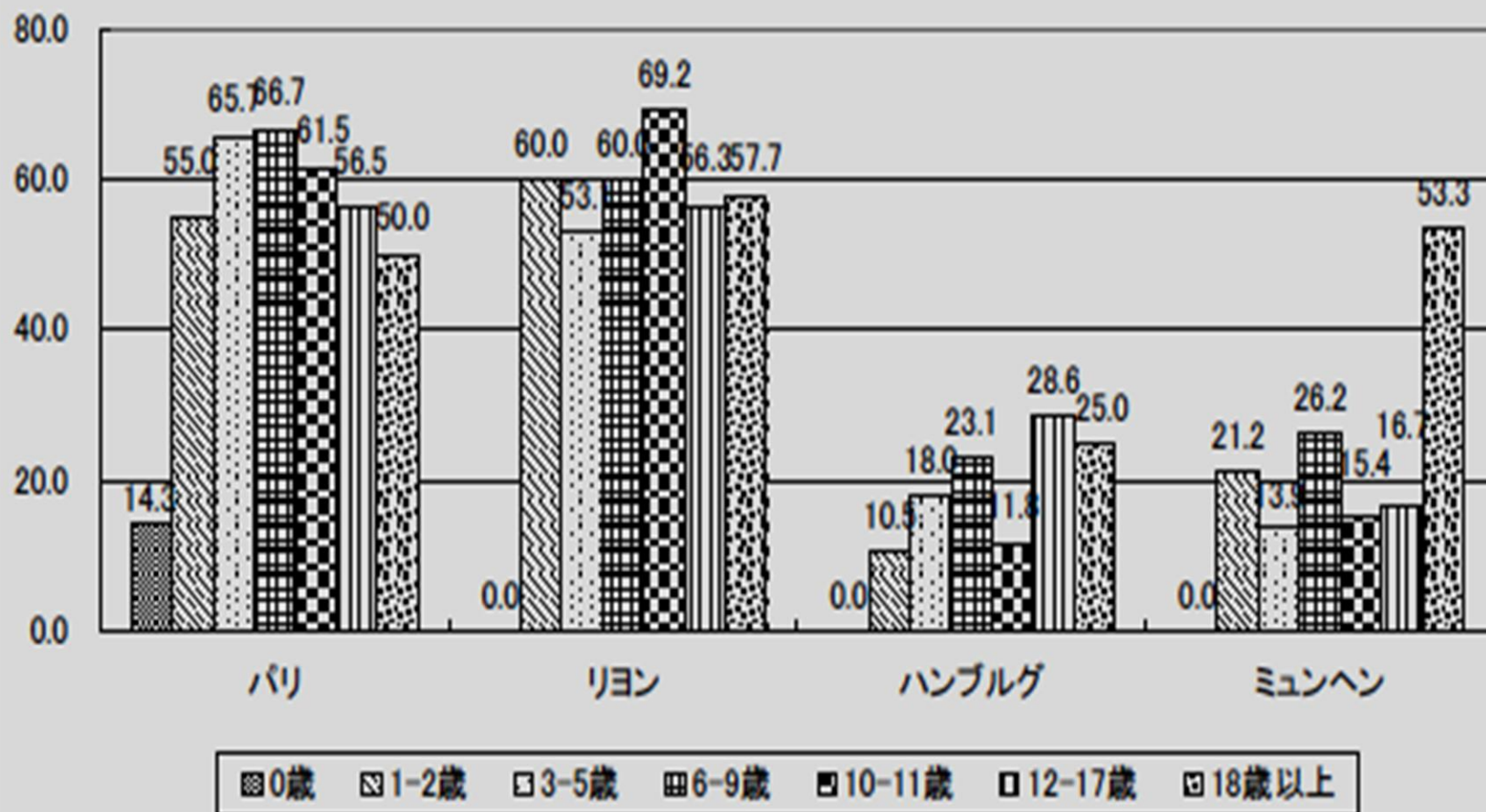
ハ) = 私的保育

注: 和訳を一部補足し、保育園を保育所に改めた。

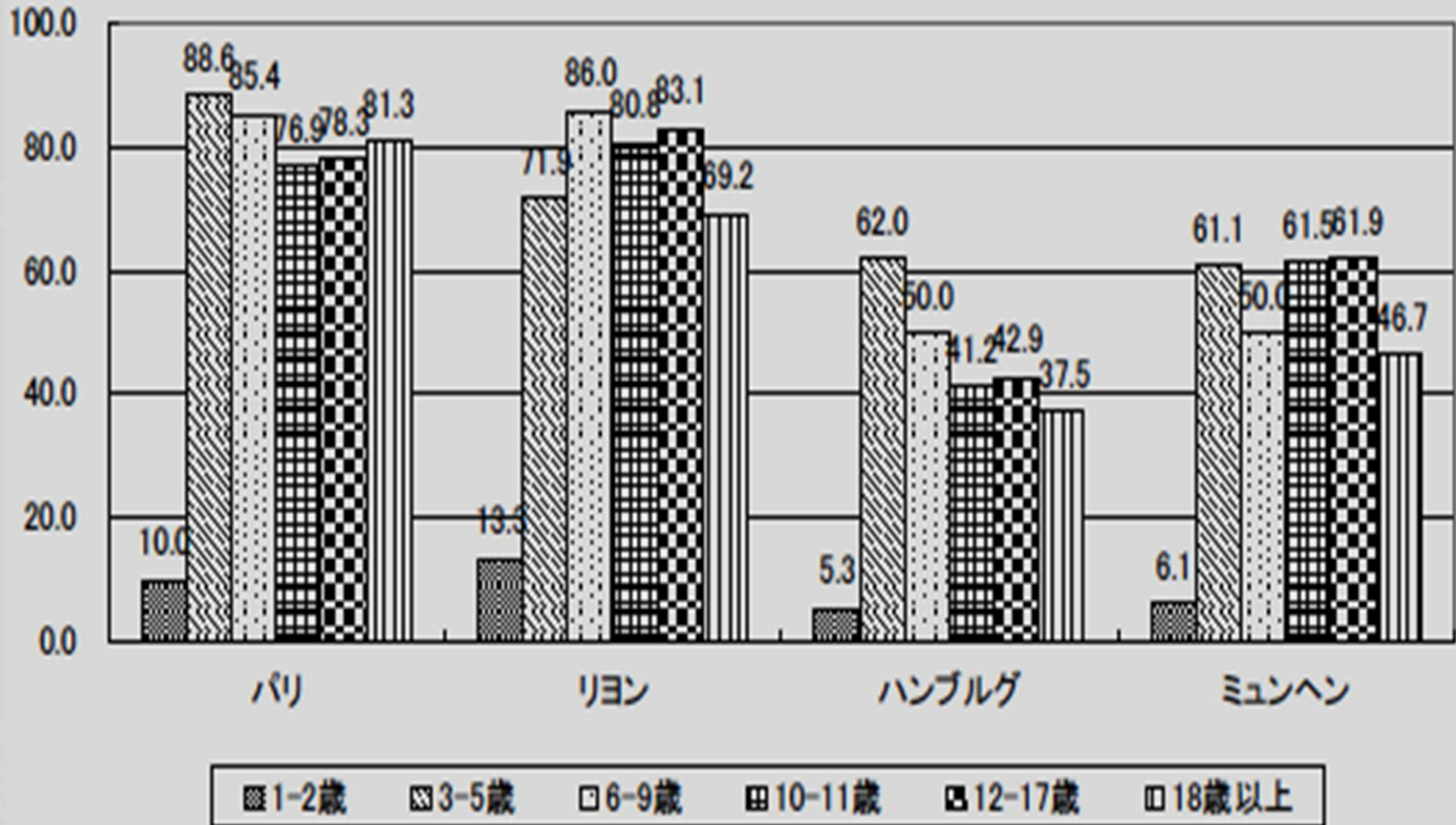
*jardin d'enfantにはほとんどが私立学校付設の幼児クラスである幼稚園と保育園のひとつのタイプである幼児園がある。

出典: 松橋恵子(1993)「現代フランスの産育」『女性空間』10号、p. 116の図表3を引用。

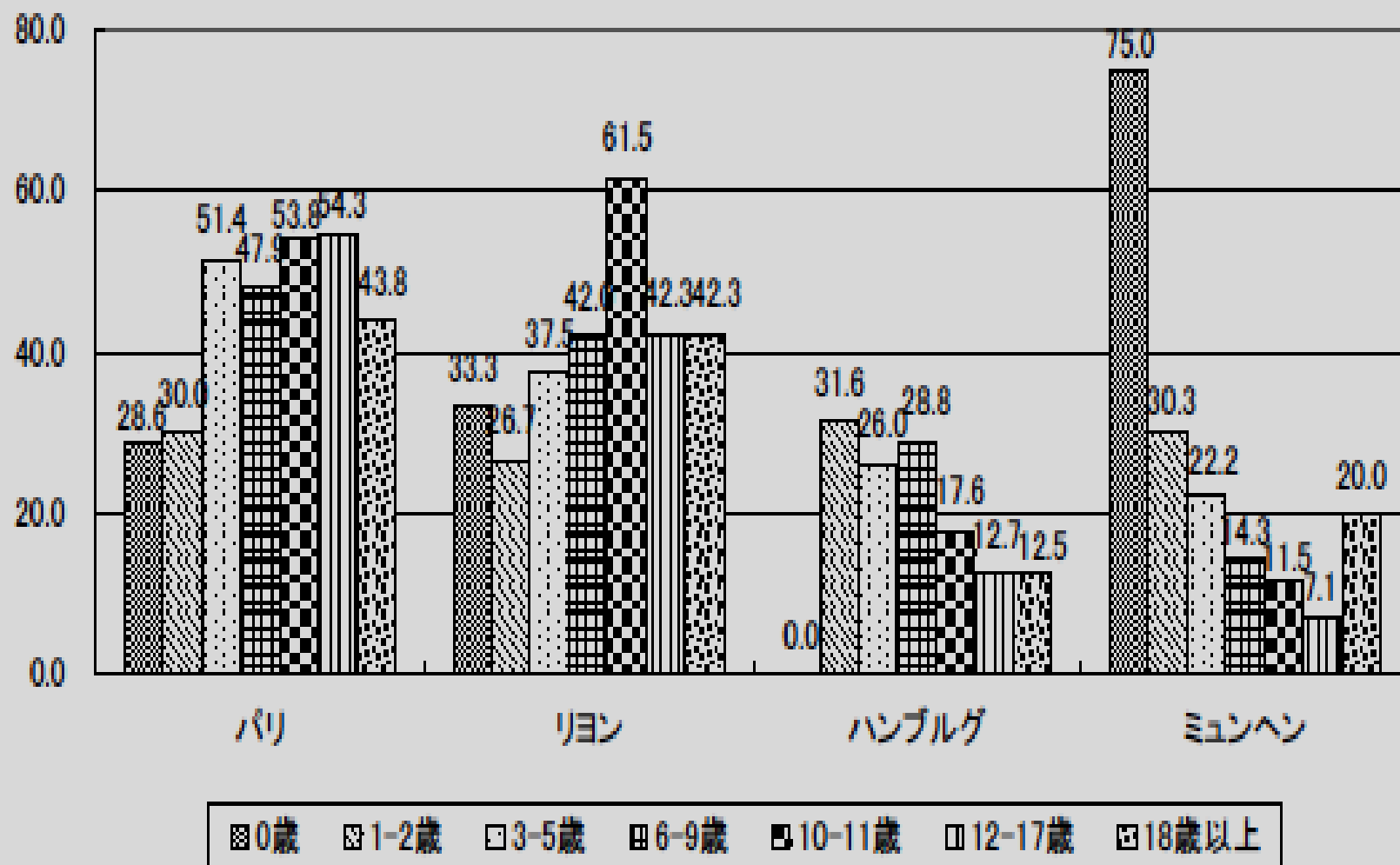
図表8-45 都市別 長子年齢別 保育所利用経験の有無



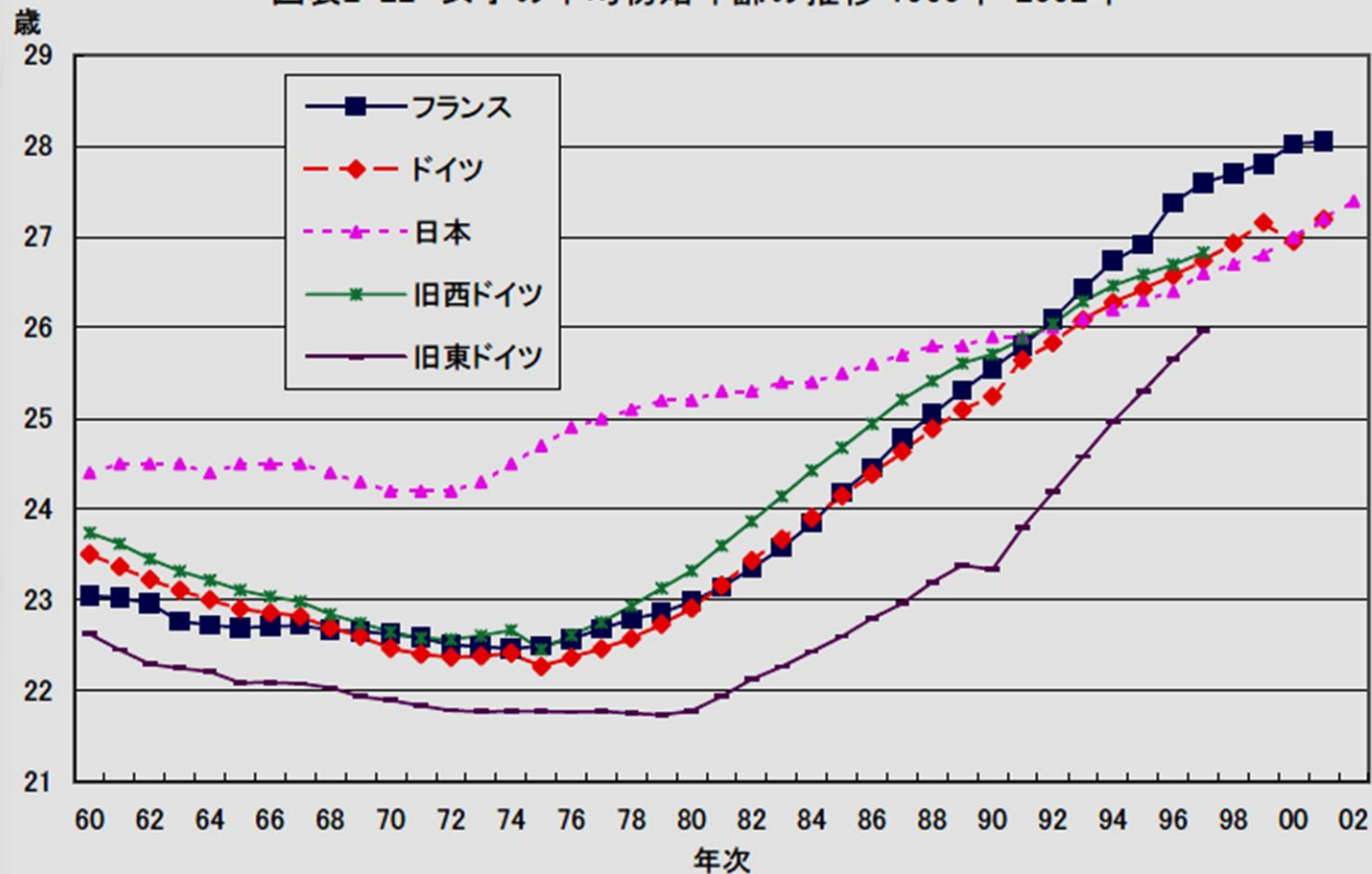
図表8-46 都市別 長子年齢別 幼稚園利用経験の有無



図表8-49 都市別 長子年齢別 ベビーシッター利用経験の有無

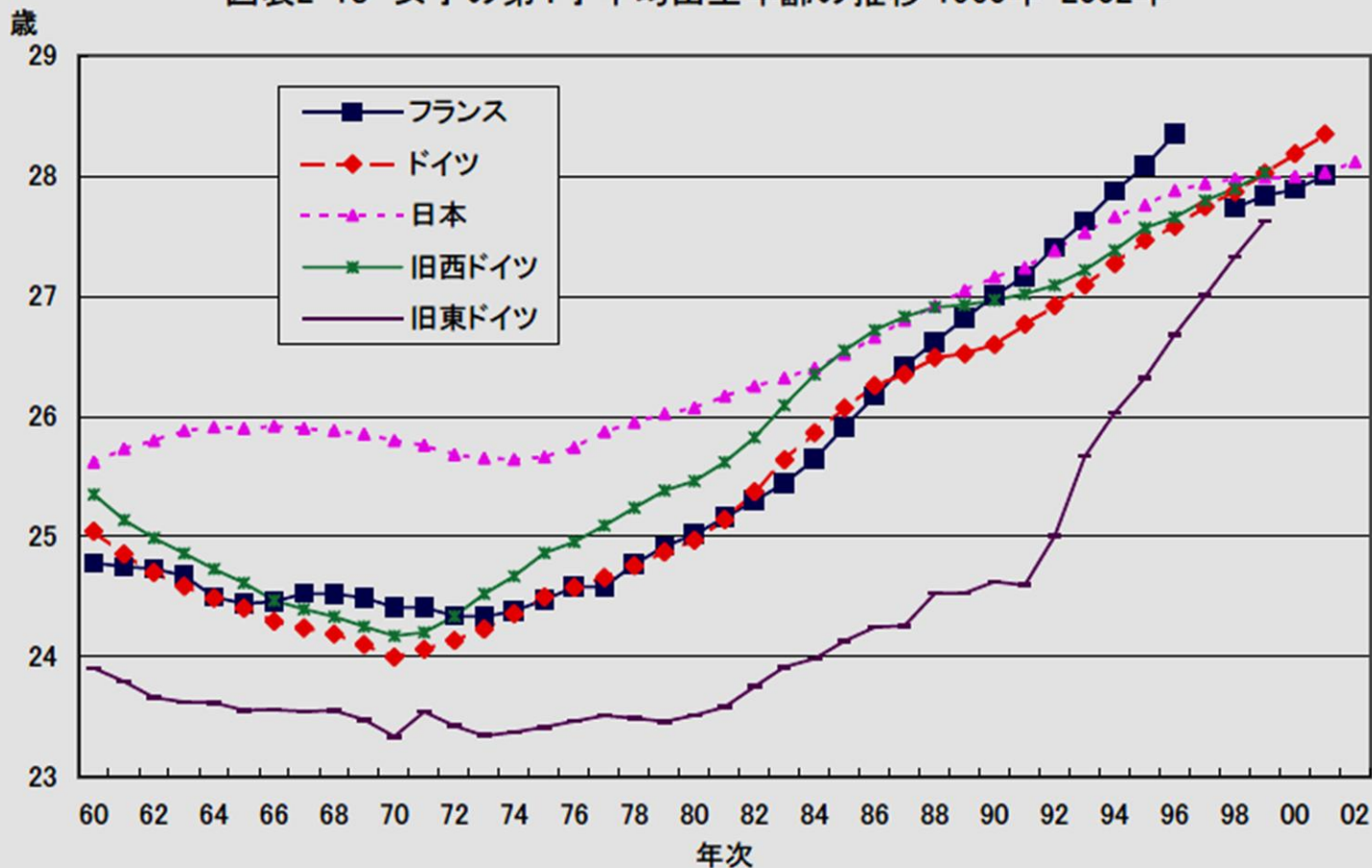


図表2-22 女子の平均初婚年齢の推移 1960年-2002年



出典：Council of Europe,2003、日本のみ「人口統計資料集2003」

図表2-18 女子の第1子平均出生年齢の推移 1960年-2002年



出典：Council of Europe,2003、日本のみ「人口統計資料集2003」

日本と同等以上の晩婚化・晩産化！

テンポ指標、カンタム指標

❖ テンポ指標 人生における出生のタイミングによる修正

つまり 早婚化=一時的な合計特殊出生率の上昇

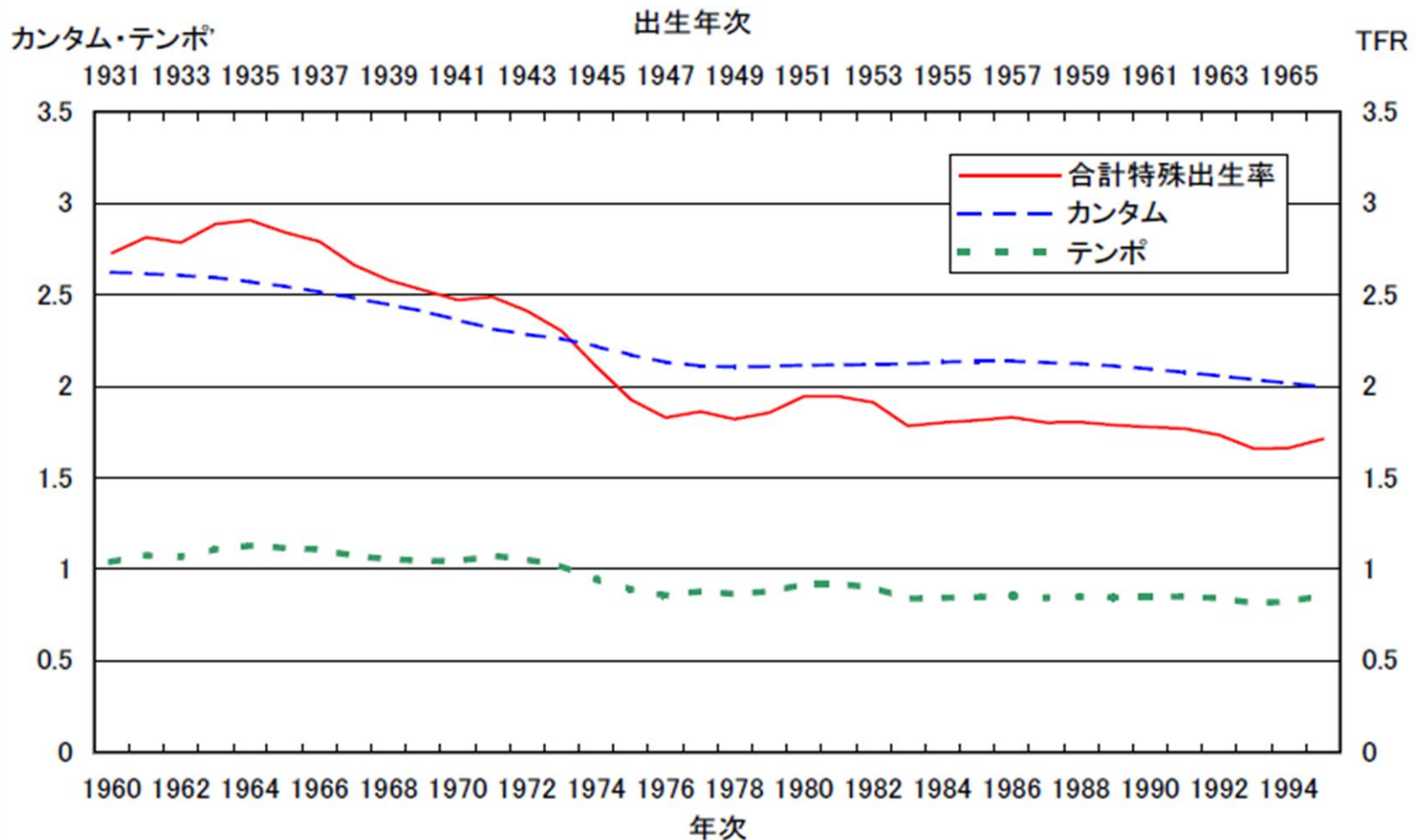
晩婚化=一時的な合計特殊出生率の低下

❖ カンタム指標

出生コホートによる合計出生率 = $\frac{\text{その女性人口が生んだ子供の数}}{\text{ある年に生まれた同い年の女性の人口}}$

カンタム指標 (フランス)

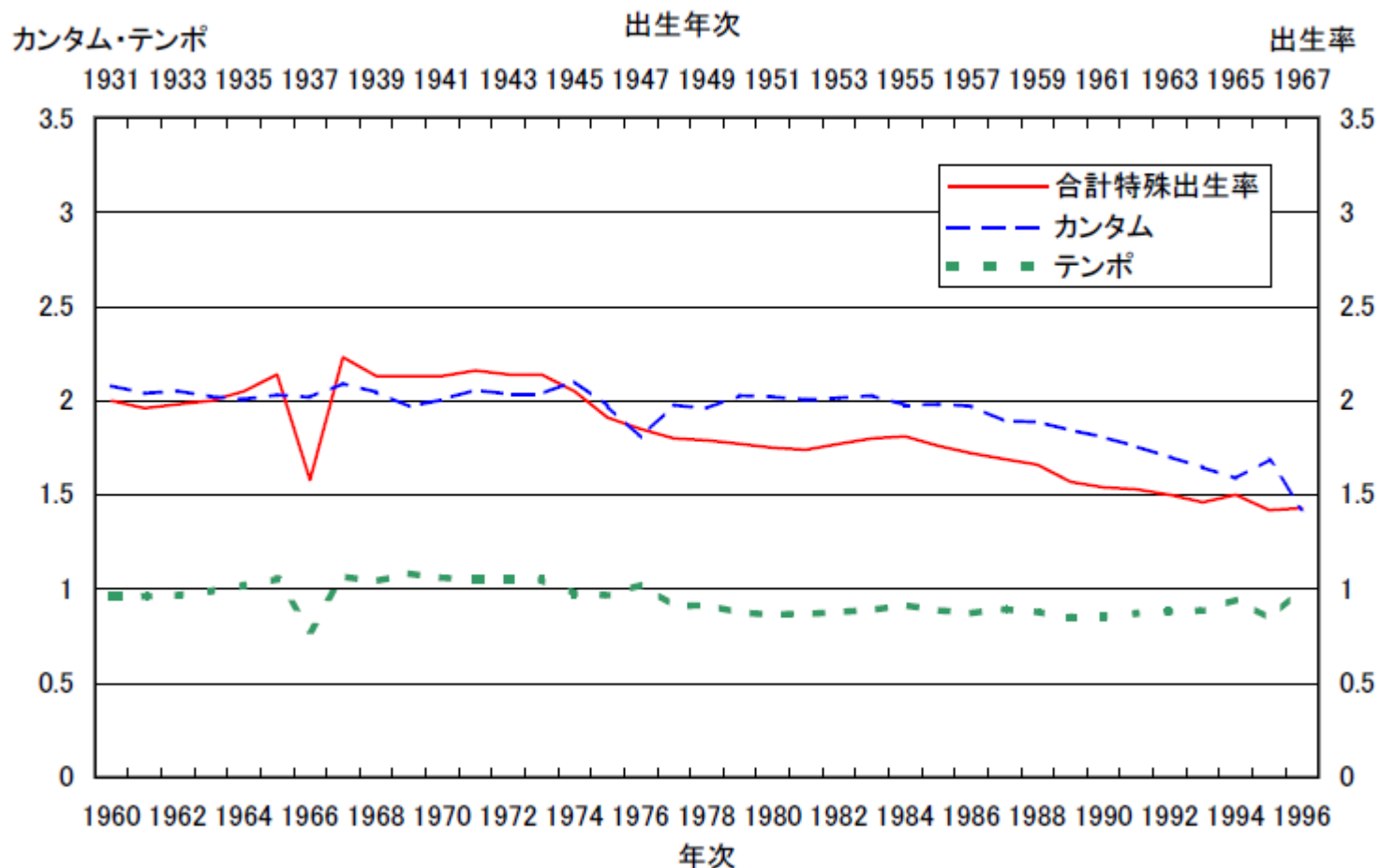
図表2-5 カンタムとテンポ:簡易法 (フランス)



出典: Council of Europe,2003より算出。

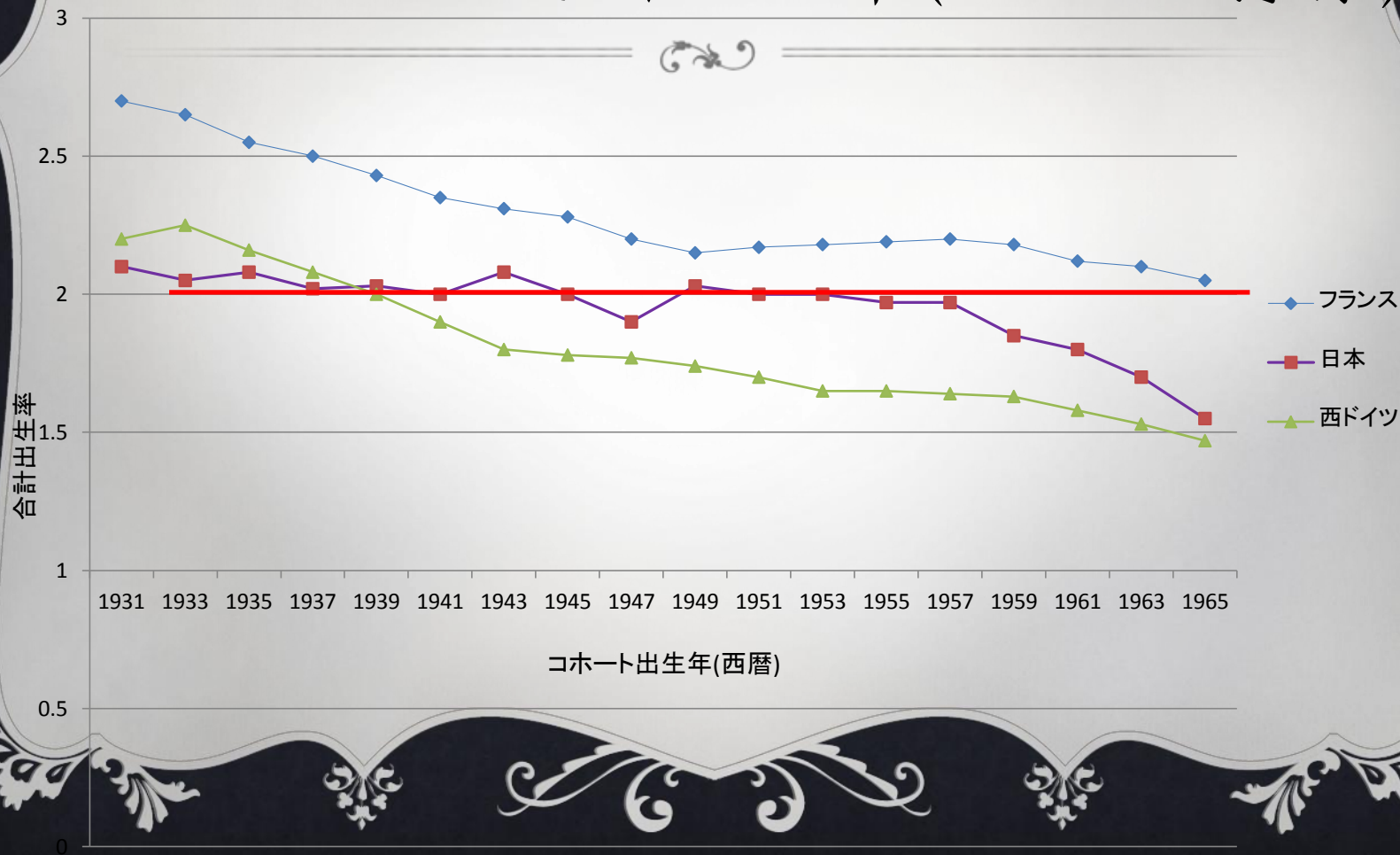
カンタム指標(日本)

図表2-8 カンタムとテンポ:簡易法(日本)



出典: 1947年から2000年の各歳別出生率を国立社会保障・人口問題研究所より入手。
期間・コホート別に積算して作成。

出生コホートの合計出生率(カンタム指標)



日仏の問題点の差異と得られる示唆

- ❖ フランスはカンタム指標で出生率が2を切らないのに対して日本(ドイツも)は2を切っている。
- ❖ フランスは晩婚化・晩産化が進む一方で充実した支援体制の力で女性は平均して二人以上の子供を産む
- ❖ 日本は晩婚化・晩産化にかまけて2人生まない → モチベーションの違い
- ❖ 大切なのはやはり育児支援の拡充で女性が子供を産むモチベーションを高めることにある？



おまけ

高TFR群(TFR1.8~)

高非嫡出児割合(45%~)

2.0
46%

2.0
50%

1.9
58%

1.8
46%

低TFR 群(TFR=~1.8)
低非嫡出児割合(~40%)

1.3
33%

2.0
50%

1.4
39%

1.4
31%

1.3
24%

日本
1.3
2%

1.5
7%

